

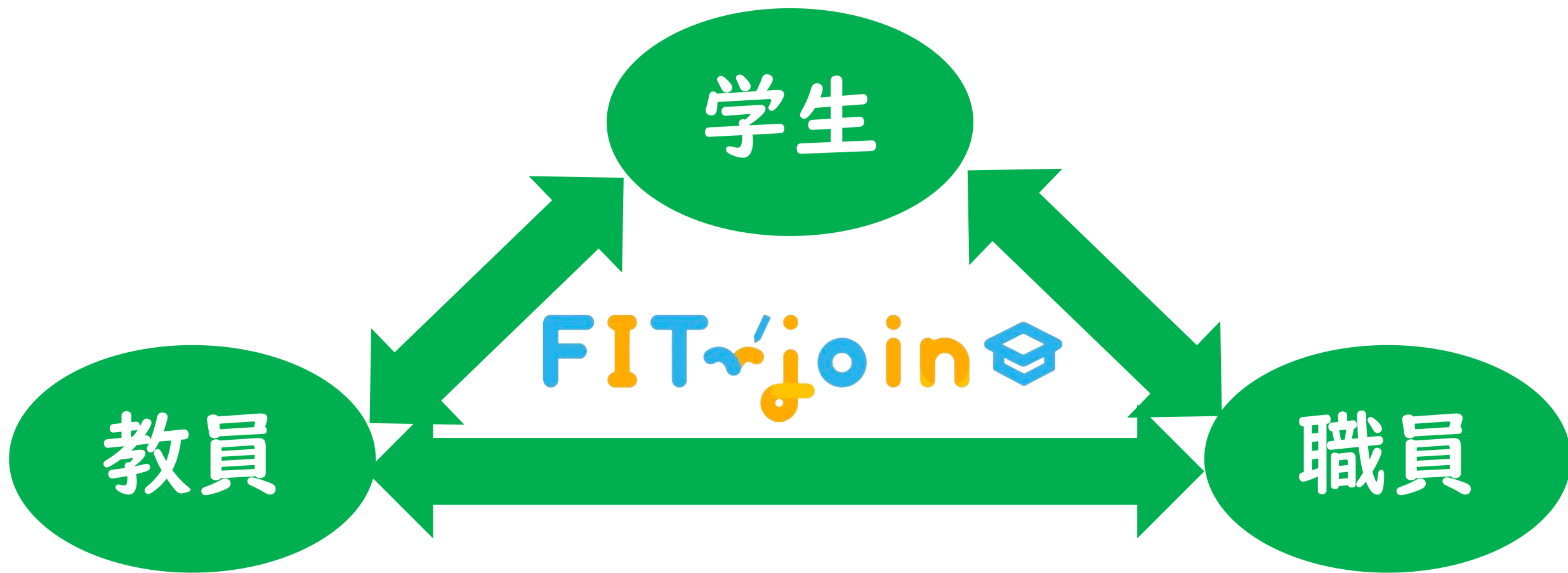
2024年度 福岡工業大学 学生FD団体:FIT-join 活動報告会

■ 本日の流れ

- FIT-join概要説明
- 2024年度(令和6年度)活動事例報告
- 活動目標に対する成果・結果
- FIT-join所属学生の成長した能力・スキル
- 今年度の活動を通じての課題
- FIT-joinから福岡工業大学への提案

■ 本日の流れ

- FIT-join概要説明
- 2024年度(令和6年度)活動事例報告
- 活動目標に対する成果・結果
- FIT-join所属学生の成長した能力・スキル
- 今年度の活動を通じての課題
- FIT-joinから福岡工業大学への提案



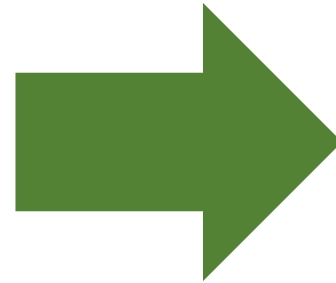
■ FIT-join概要説明

FIT-joinでは、

- ・ **学生の視点**から
- ・ 本学の**教育改善**を
- ・ **教職員と一緒に**
考えています！！



学生・教員・職員を繋ぐ



学びの
コミュニティづくり

■ 本日の流れ

- FIT-join概要説明
- 2024年度(令和6年度)活動事例報告
- 活動目標に対する成果・結果
- FIT-join所属学生の成長した能力・スキル
- 今年度の活動を通じての課題
- FIT-joinから福岡工業大学への提案

■ 2024年度(令和6年度)活動概要報告(外部向け)

(1) 学生の意見を教職員に伝える活動

学生アンケート, FDCafe

(2) 教職員の想いを学生に伝える活動

教員インタビュー

(3) 学びのコミュニティを作る活動

Join-Talks, 学生団体サミット, 新入生オリエン, プレセミナー

(4) FIT-joinの広報活動

Future Design Vol.8, Instagram, 立花祭

■ 2024年度(令和6年度)活動概要報告(内部向け)

夏季／冬季一斉面談の実施

- 目的
- ・ 活動の満足度・充実度の把握から今後の活動の改善に繋げる
 - ・ 活動の振り返りによって、各自の成長度合いの確認および目標・計画設定を行う
 - ・ 今後の活動に対するモチベーションの維持・向上

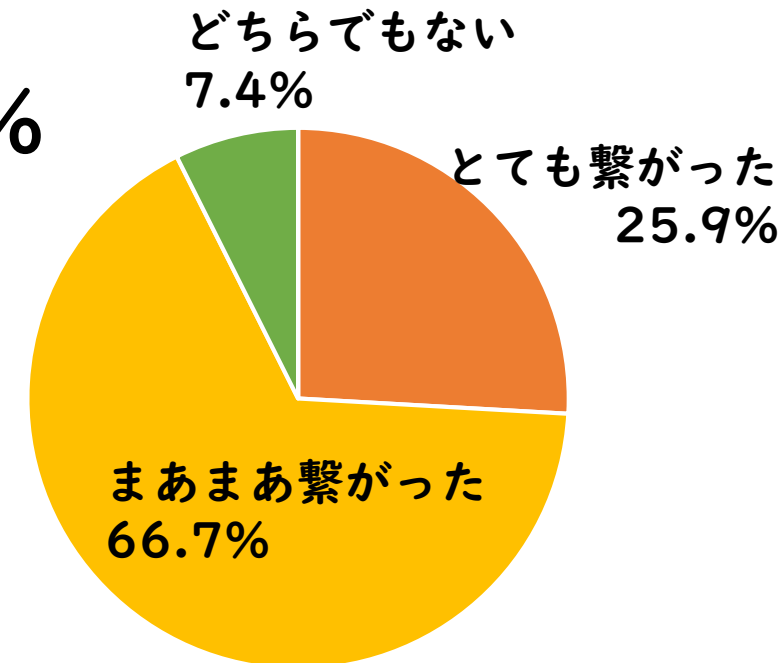
2024年度(令和6年度)活動概要報告(内部向け)

夏季／冬季一斉面談の実施

成果 モチベーションの維持・向上に繋がったか

とても繋がった 25.9%

まあまあ繋がった 66.7%



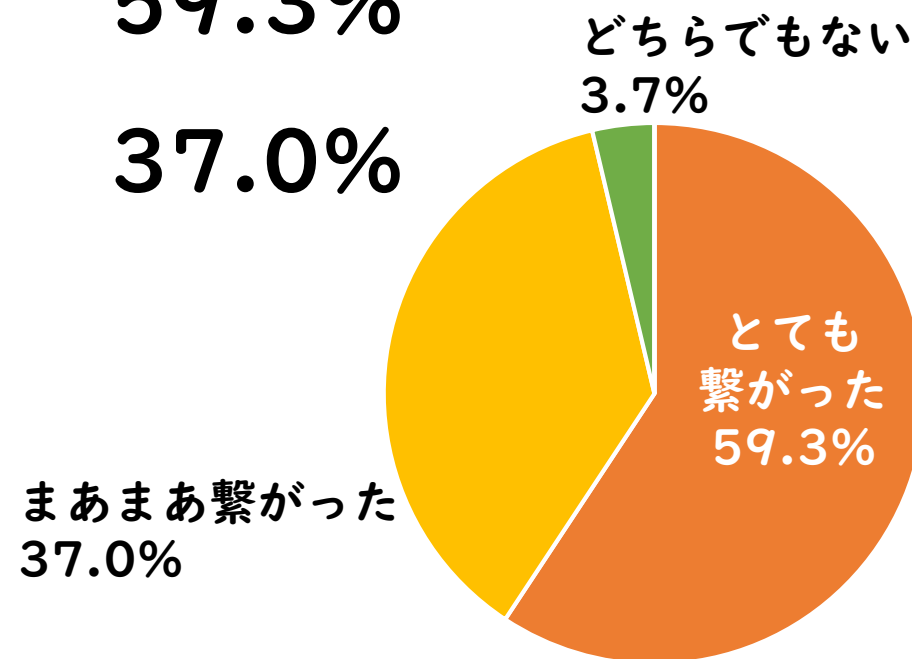
2024年度(令和6年度)活動概要報告(内部向け)

夏季／冬季一斉面談の実施

成果 活動の振り返りに繋がったか

とても繋がった 59.3%

まあまあ繋がった 37.0%



2024年度(令和6年度)活動概要報告(内部向け)

夏季／冬季一斉面談の実施

成果 目標設定ができたか

できた 100%

できなかった 0%



2024年度(令和6年度)活動概要報告(内部向け)

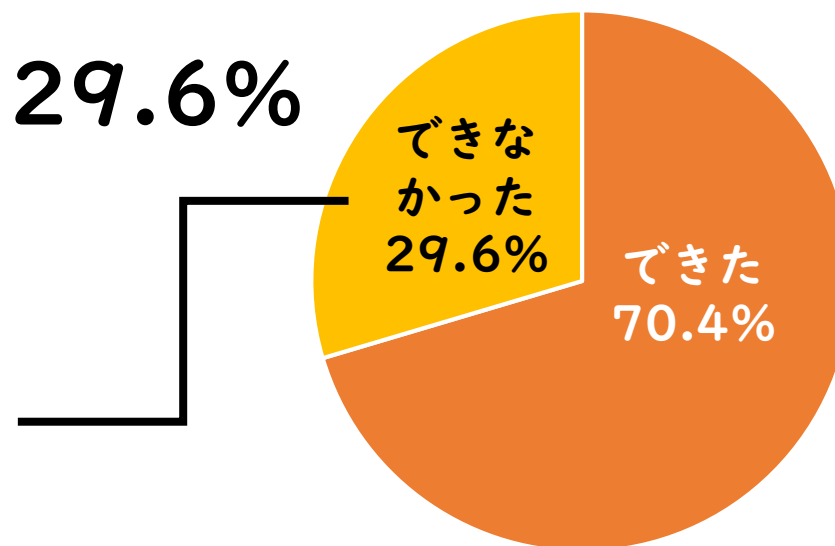
夏季／冬季一斉面談の実施

成果 設定した目標を意識できたか

できた 70.4%

できなかった 29.6%

面談間のスパンが長く
設定目標を忘れる 等



■ 本日の流れ

- FIT-join概要説明
- 2024年度(令和6年度)活動事例報告
- **活動目標に対する成果・結果**
- FIT-join所属学生の成長した能力・スキル
- 今年度の活動を通じての課題
- FIT-joinから福岡工業大学への提案

■ 活動目標に対する成果・結果

(1) 設定した活動目標

学生のためになるようなことを企画して参加率を上げる

(学生のスキルアップ)

(理解・協力を得る)

Join-Talks参加者

昨年度34名→50名

学生アンケート回答数

昨年度634件→800件

活動目標に対する成果・結果

(2) 設定した活動目標に対する対応・取り組み

① 学生のためになるようなことを企画して ② 参加率を上げる

①に対する対応・取り組み

11月25日(月) Join-Talks開催（プレゼン）

②に対する対応・取り組み

Instagramでの広報活動を強化

活動目標に対する成果・結果

(3) 設定した活動目標に対する成果・結果

学生のためになるようなことを企画して参加率を上げる

(学生のスキルアップ)

(理解・協力を得る)

Join-Talks参加者

昨年度34名→50名

実績値：36名（未達）

学生アンケート回答数

昨年度634件→800件

実績値：455件（未達）

活動目標に対する成果・結果

(4) 設定した活動目標に対する成果・結果の原因

学生のためになるようなことを企画して参加率を上げる

(学生のスキルアップ)

(理解・協力を得る)

Join-Talks参加者

目標：50名→実績値：36名

→開催告知タイミングの遅さ

学生アンケート回答数

目標：800件→実績値：455件

→回答期間が試験期間と重複

■ 本日の流れ

- FIT-join概要説明
- 2024年度(令和6年度)活動事例報告
- 活動目標に対する成果・結果
- **FIT-join所属学生の成長した能力・スキル**
- 今年度の活動を通じての課題
- FIT-joinから福岡工業大学への提案

■ FIT-join所属学生の成長した能力・スキル

(1) 活動を通して身につけた力

課題解決力

11%(7件)

コミュニケーション能力

30%(20件)

主体性

21%(14件)

実行性

12%(8件)

協働性

26%(17件)



■ FIT-join所属学生の成長した能力・スキル

(2) 活動を通して身についた力

課題解決力

10%(6件)

コミュニケーション能力

33%(20件)

主体性

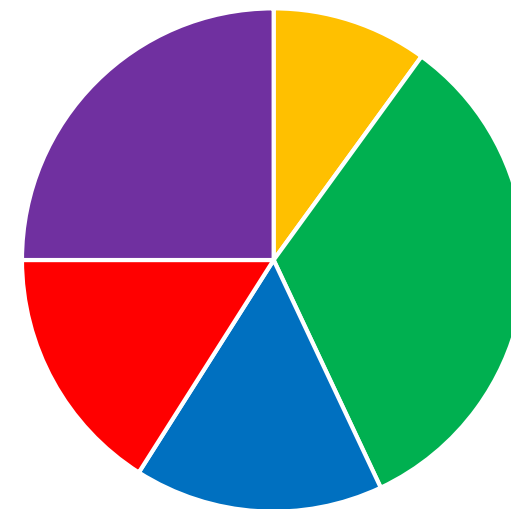
16%(10件)

実行性

16%(10件)

協働性

25%(15件)



■ FIT-join所属学生の成長した能力・スキル

(3) 身につけたい力と身についた力の差[複数選択可]

課題解決力

7件

→ 6件

コミュニケーション能力

20件

→ 20件

主体性

14件

→ 10件

実行性

8件

→ 10件

協働性

17件

→ 15件

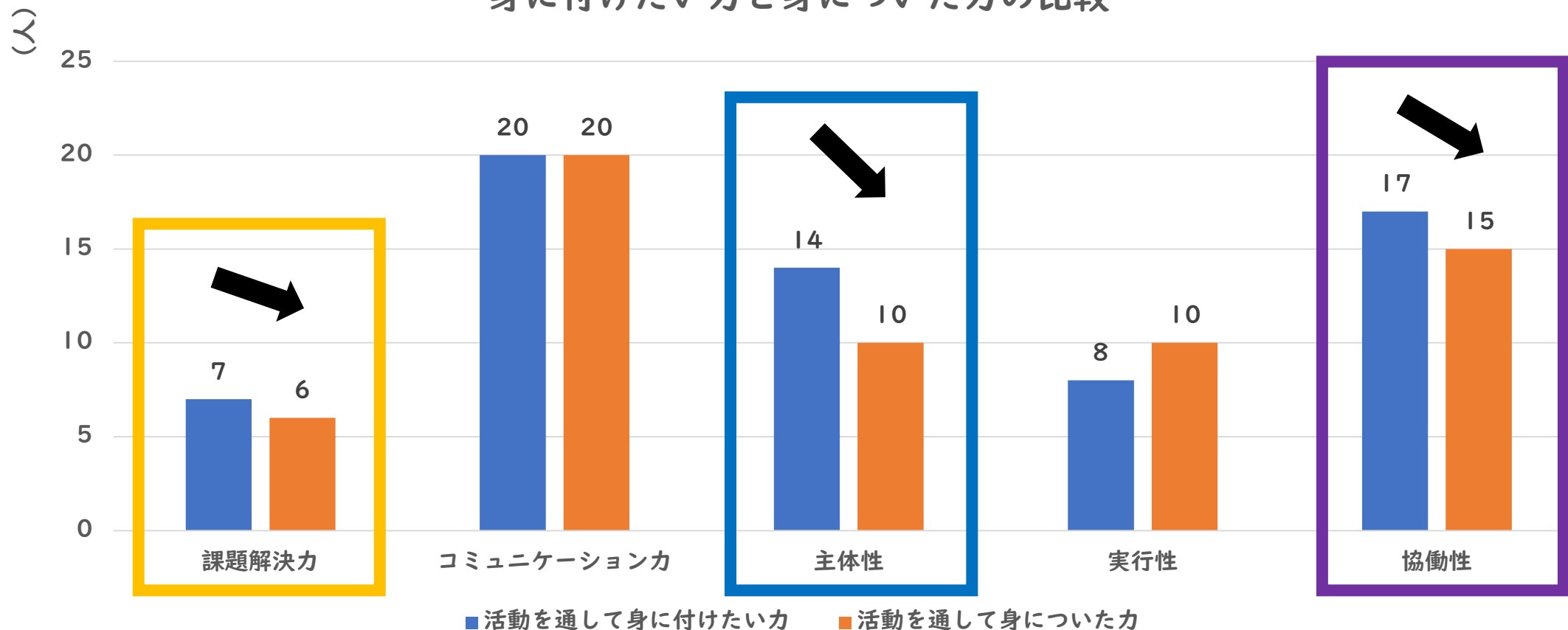
※ 「身につけたい力」と「身についた力」で差がある人：7人(31.8%)

■ 本日の流れ

- FIT-join概要説明
- 2024年度(令和6年度)活動事例報告
- 活動目標に対する成果・結果
- FIT-join所属学生の成長した能力・スキル
- 今年度の活動を通じての課題
- FIT-joinから福岡工業大学への提案

今年度の活動を通じての課題

身に付けたい力と身についた力の比較



身に付けたいのに身につけられないという学生がいる

今年度の活動 課題の整理

活動アンケートより

協働性

- ・仕事の量に差
- ・リーダーに対するフォロー不足
- ・情報共有がスムーズではない
- ・PJ内での関わりが少ない
- ・報連相や内容の説明が事後
- ・後輩の育成が不十分
- ・役割が明確ではない

コミュニケーション

- ・メンバーとの関わりが限定的
- ・PJ外とのコミュニケーション不足

実行性

- ・FD caféの提案の効果が分からない
- ・イベントの認知度が低い
- ・企画の振り返りができていない

主体性

- ・積極的参加する人が固定化
- ・参加率に個人差
- ・モチベーションに差異がある
- ・発言する人が固定化

■ FIT-join 課題の解決に向けて

コミュニケーション力の面

課題

- ・メンバーとの関わりが限定的
- ・PJ外とのコミュニケーション不足

解決策

- ・複数のプロジェクトが関わる場面での積極的な協働
- ・学祭への出店計画 ・親睦会の検討

■ FIT-join 課題の解決に向けて

主体性の面

課題

- ・ 積極的参加する人が固定化
- ・ 参加率に個人差
- ・ モチベーションに差異がある
- ・ 発言する人が固定化

解決策

- ・ 当初に設定した目標に応じた役割分担や目標達成へのサポート
- ・ 今年度導入した定期的な面談の継続
- ・ 欠席した際も、次回以降参加しやすいようフォローアップ
- ・ 先輩は後輩の意見を補強する形で発言するよう心掛ける

■ FIT-join 課題の解決に向けて

実行性の面

課題

- ・ FD caféの提案の効果が分からない
- ・ イベントの認知度が低い
- ・ 企画の振り返りができていない

解決策

- ・ Instagramで投稿企画を充実させ周知を図る
- ・ イベント直後にプロジェクトメンバーと振り返りを行う
(また、必要に応じて個別の面談を行い目標達成状況などを把握する)

■ FIT-join 課題の解決に向けて

協働性の面

課題

- ・ 仕事の量に差
- ・ リーダーに対するフォロー不足
- ・ 情報共有がスムーズではない
- ・ PJ内での関わりが少ない
- ・ 報連相や内容の説明が事後
- ・ 後輩の育成が不十分
- ・ 役割が明確ではない

解決策

- ・ リーダーだけが負担を負うことのないよう分担の明確化
- ・ 前年度の役職者を同じプロジェクトへ継続して配属しサポート
- ・ 議事の早急な共有と早めの日程調整

■ 本日の流れ

- FIT-join概要説明
- 2024年度(令和6年度)活動事例報告
- 活動目標に対する成果・結果
- FIT-join所属学生の成長した能力・スキル
- 今年度の活動を通じての課題
- FIT-joinから福岡工業大学への提案

■ FIT-join メンバーが感じる大学の課題

- メールを見ない
- アンケートに積極的に協力してくれる人が少ない
- 授業アンケートが活かしきれていない
- 大学の施設や支援制度への理解が進んでいない
- 意欲の差
- コミュニケーション力の不足
- 受動的な学生の声が届きづらい

学生の“主体性”に関する課題が多い

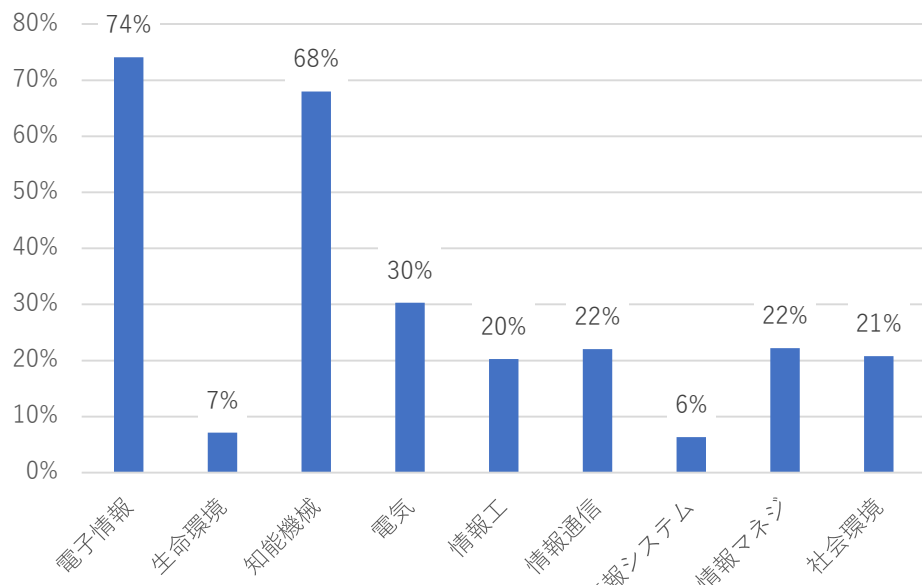
FIT-join メンバーが感じる大学の課題

主体性を持たせる授業設計の現状分析

現状：
学科によってDP「G：主体性」を加味した科目の割合に大きな差

可能性：
割合の低い学科では、授業設計の段階で主体性を持たせる工夫の余地があるのではないか

DP「G」主体性を身に付けることができると設定された授業の割合（○/◎記載科目/学科全科目）



2024年度[2024年度入学生用]学生便覧より、各学科「専門基礎及び専門教育科目のディプロマ・ポリシーに対する関与度一覧表」をもとに集計

■専門基礎及び専門教育科目のディプロマ・ポリシーに対する関与度一覧表 (電子情報工学科)

区分	授業科目名	必/選	学年	学期	形態	DPに対する関与の程度								
						A	B	C	D	E	F	G	H	I
専門基礎科目	電子情報基礎数学	必修	1	前	講義・演習			○	○			○	○	
	電子情報数学	必修	1	後	講義・演習			○		○		○	○	
	線形代数Ⅰ	必修	2	前	講義			○				○		
	線形代数Ⅱ	選択	2	後	講義			○				○		
	微分方程式	必修	2	前	講義			○				○		
	初等統計学	選択	2	後	講義			○				○		
	物理概論	必修	1	前	講義			○				○		



■ FIT-join メンバーが感じる大学の課題と提案

授業アンケートに関して提案

回答が主体性に委ねられているため
全科目の30%以上が回答率20%以下

回答率が伸び悩む要因：

効果を実感していない

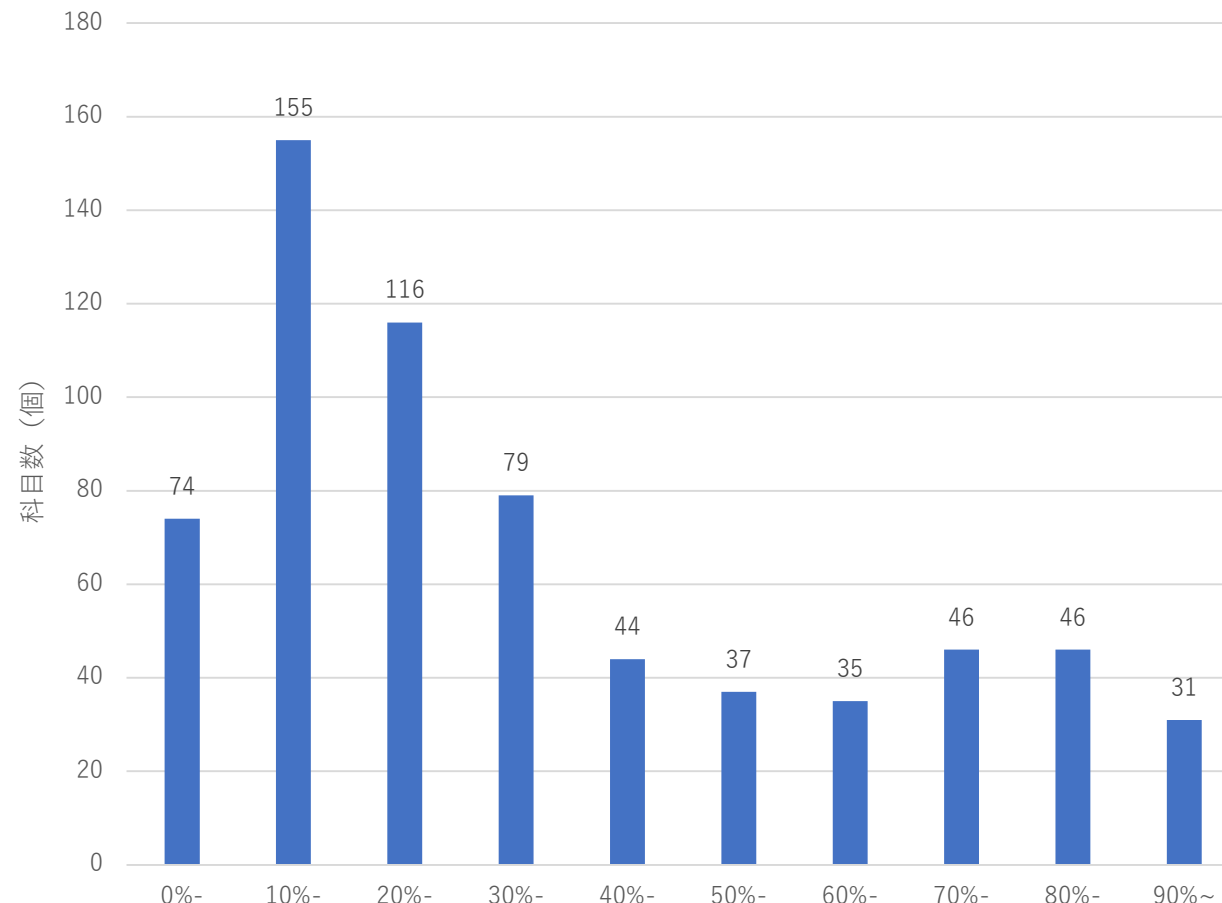
授業改善が学生に伝わっていない

メリットを感じていない

提案：

授業改善を発信し、効果を実感させる

授業アンケート 回答率分布（2024年後期）



myFIT授業アンケート集計結果検索より、回答率を用い集計した。

■ 4年生からの振り返り

- 他学科、他学年の学生との交流ができたことがとても良かった。また、チームで仕事をやり遂げる力がついた。
- 4年間活動してみて、たくさんの人と関わることができコミュニケーション能力が向上した。また自分の成長だけでなく後輩と関わることで、人との関わり方を学んだ。
- 様々な活動の中で、他学科他学年の人と関わることで良かった。